



# 探究科活動報告 2021 ~2年生編~

ここでは1,2年の探究科で行ってきたこれまでの活動と、先輩たちの感想をまとめました。中学生のみなさんに向けてのメッセージも書かれています。

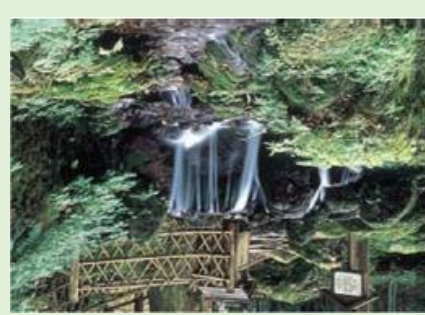
## 2年探究文科・理科 1学期



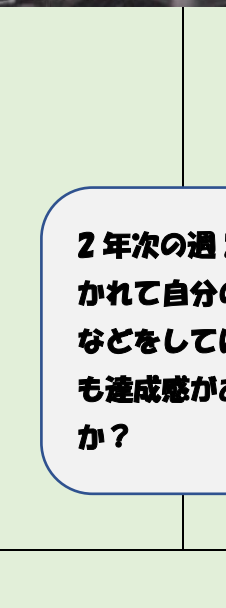
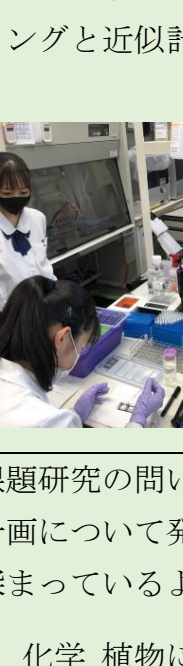

月日	行事	内容など
4月18日(日)	「越前市男女共同参画センター20周年記念フェスタ」参加	越前市役所において、本校の生徒が発表を行いました。 「『セクシャルマイノリティ』って、聞いたことあるけど実際なんなんですか？」 「個人的解釈による差別くん誕生秘話」 このフェスタには社会学者・東京大学名誉教授である上野千鶴子先生の講演と課題研究発表者との交流もありました。  
5月20(木) 28日(金)	自然科学探究 人文社会探究 テーマ相談会	講師に仁愛大学の西出教授、織田准教授をお迎えし、研究の意義・方法・テーマ相談会を実施しました。早速その助言を生かして問いを改善しているグループもありました。
6月	「プレゼン甲子園」参加	予選大会に31チーム(探究文科理科全員)出場しました。クオリティーの高い作品に仕上がりに、能力の高さを感じました。
6月15日(火)	サイエンス ダイアログ	京都大学研究員の Benjamin Schrager 氏を講師に、普段は気づかない食物と国々との関係について、英語で講義を受けました。質疑応答も英語で行い、充実感を得ていたようです。  

5, 6月	TanQcafe プラス	東大・京大の過去問にチャレンジしました。第1回の30名よりメンバーも若干増え、切磋琢磨しながら学び合う姿勢が印象的でした。講師に教頭先生をお迎えし、東大の問題の特徴を丁寧に教えていただきました。	
6月25日(金)	福井県警交通部長より感謝状	1組 瀧波奈々さんの課題研究が交通安全運動の啓発に貢献したということで、福井県警交通部長より感謝状が渡されました。1年次の「後期課題研究」で横断歩道での車の停止率についての研究を行い、福井県警の方々から「よくこれだけのデータを集めて、調査・分析してくれた。」と称賛されました。	

**2年探究文科・理科 2学期**

月日	行事	内容など
8月2日(月)	校外研修 熊川宿瓜割の滝 (文科31名)	日本遺産の熊川宿と日本百名水の瓜割の滝を訪れ地理的・歴史的・水質的面からそれぞれの特徴等を学びました。シェアオフィス等の古民家利活用事業を進める時岡様の話聞き、生徒は街づくりについての熱意に触れて感動した様子でした。
8月2日(月)	石坂三不保 研究センター	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>語探究文科は、夏の研修旅行では熊川宿でまちづくりの事業者さんから「持続可能なまち」というテーマで講義をしていただき、まちについて知ること・考えてみることの重要性を感じました。(越前市武生第三中学校出身 Tさん)</b></p> </div> <p style="text-align: right;">まと を味</p>





	(理科45名)	<p>わっていました。環境水等に含まれる微量金属分析やプログラミングと近似計算の基礎などについて学びました。</p>
<p>9月16日 (木)</p>	<p>自然科学探究 I 中間発表 (理科45名)</p>	<p>課題研究の問いと仮説、これまでの活動内容、これからの活動計画について発表しました。3年生の継続研究もあり、内容も深まっているようでした。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 化学 植物に含まれる生理活性物質の研究</li> <li>2 生物 最強の日焼け止めを作る</li> <li>3 物理 How to build strong bridge</li> <li>4 生物 様々な状況におけるコイの酸素消費率</li> <li>5 数学 学校の避難経路は本当に最適なのか</li> <li>6 化学 Tシャツについてのインクを落とすには</li> <li>7 化学 脱プチプチ化計画</li> <li>8 物理 紙の衝撃吸収力</li> <li>9 数学 SPLIT ETIZEN</li> <li>10 地学 地下水の分析は断層のルート確定に有効である</li> <li>11 物理 水柱に現れるくぼみの謎と原理</li> <li>12 物理 微生物の超音波に対する影響</li> </ol>
		
		
<p><b>2年次の週2時間の探究学習の授業では、SDGsと多様性をテーマに、グループに分かれて自分の疑問に関する「問い」を立て、結論を出すためにアンケート調査や実験などをしていきます。友達と活発に対話をしながら結論に迫っていくこの活動はとても達成感があります。自分の興味があることをこの武生高校でさらに深めてみませんか？</b> (敦賀市気比中学校出身 Tさん)</p>		

<p>9月22日 (水)</p>	<p>人文社会探究 I 中間発表  (文科31名)</p>	<p>1 学期から進めている研究について、パワーポイントにまとめ、動機、研究の過程なども含めわかりやすいプレゼンを目指し発表を行いました。以下が研究課題のテーマです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 昆虫食を広めるにはどうしたらよいか</li> <li>2 偏見の作用について</li> <li>3 校則の意義について</li> <li>4 ふるさと納税のうまく活用する方法</li> <li>5 英語の音読やシャドーイングはスピーキング能力のそれにそれぞれどのような効果があるのか</li> <li>6 子どものコミュニケーションの向上</li> <li>7 武生高校生のジェンダーへの関心はどれくらいあるのか</li> <li>8 今後の教育はどのように進んでいくのか</li> <li>9 武生高校版 SDG s</li> <li>10 ネット恋愛</li> <li>11 キャッチコピーによる経済効果</li> </ol>
<p>10月13日 (水)</p>	<p>校内研修(1) ～OECD から学ぶ～世界の諸問題を考える</p>	<p>パリ在住の OECD 職員の田熊美保さんから「世界の諸問題を考える」というタイトルで講義(オンライン)をいただき、提示された課題を生徒間で討議し、問題の解決策を短い時間で手際よくまとめ、田熊さんとカナダの大学生レスリーさんに英語で発表しました。「日本語だと日本人くらいしか理解できないが、英語だと世界中の人々と意見を交換でき、より自分の考えを深めることができるので、この機会に経験できてとてもよかった。」</p>



**英語でのプレゼンやコミュニケーションを通して、実際に自分の英語が伝わるのが嬉しかったですし、世界が広がりました。仲間と協力しながら、積極的にチャレンジできたのも良かったです。何よりこのような機会があることが探究科ならではの楽しみです！**  
(越前市南越中学校出身 「さん」)

<p>10月15日 (金)</p>	<p>校内研修(2) TKF Project Presentation 課題研究 中間発表 in English</p>	<p>課題研究の中間発表を英語でプレゼンテーションしました。質疑応答に対応する実践力を培う場となりました。仁愛大学、福井大学の先生方や、留学生が加わり、各研究発表に関して質疑応答、その後のコメント等、すべて英語で行い、中身の濃い活動となりました。「原稿を覚えて自信をつけるのも大切だが、相手に伝わってほしいと思う姿勢や態度の方が大事だと感じた。」「思ったより即興で英語を使えた。」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>12月7日 (火)</p>	<p>探究文科理科 研修旅行</p> <div style="display: flex;">   </div>	<p>生徒研修委員が意見を出し合い、大変充実した研修を企画・実施することが出来ました。</p> <p>1日目：(文理別) 同志社大学オープンキャンパス・模擬講義・京都班別研修</p> <p>2日目：(文理別) コスモアイル羽咋・北國新聞 白山砂防科学館・辰巳化学研修</p> <p>3日目：(共通) 松島水族館 (文理別) 永平寺/サイエンスラボ</p> <p>4日目：(共通) 金沢班別研修</p> <p>「同志社では単なる学部の説明や模擬授業と捉えるのではなく、それらを学ぶことは、まさに今、生きていくことに役立つことや、不透明な将来に大事な思考方法ではないか」「生きているからこそ知的好奇心が生まれる」など、その場で学んだ事をさらに発展させ、様々な気づきを生んだ研修でした。</p>
<p><b>冬の研修旅行では研修委員として企画に携わり、県内外の寺院や新聞社、大学などで講義や見学の機会をいただき、将来につながる貴重な研修ができたなと思いました。 (越前市武生第三中学校出身 Tさん)</b></p>		
<p><b>冬の研修旅行では、研修委員として企画に携わりながら物理・化学・生物についてから薬剤についてまで、様々な講義を受けました。夏の研修では、若狭湾エネルギーセンターで複数ある理科系の研究テーマから1つの研究を選択して取り組み、各自興味のある内容を実際に体験しながら学び、発表で他者に発信することで多方面の力が身についたということが共通して言えます。 (越前市武生第一中学校出身 Sさん)</b></p>		